



災害はいつ起こるかわかりません。今まで被害がなかったからといってこれからは安全とは限らず、ひとたび自然災害が発生すれば、わたしたちの大切な命や財産を一瞬にして奪い去ります。これからの季節は台風や大雨などによる水害の危険が高まります。平常時から災害時に何が必要か、家の周りや近所でどのような被害が想定され、どのような対策が必要かなどをしっかりと考え、災害に備えましょう。

❖避難場所と避難所の違い❖

皆さんは「避難場所」と「避難所」の違いを知っていますか？地震のとき、水害のとき、どこに避難すればよいか知っていますか？平常時から正しい知識を身につけ、災害時に冷静に行動できるようにしましょう。自分や家族がどこに避難すればよいのか、災害時の避難場所および避難所一覧（4ページ）でご確認ください。

避難場所	災害の危険が迫っているときに、危険から命を守るために避難する場所です。市では、学校のグラウンドや公園、駐車場などの場所を災害ごとに指定しています
避難所	災害によって住宅を失った場合などにおいて、一定期間避難生活をする場所です。市では、学校や体育館、地域交流センターゆうなどの施設を避難所として指定しています

❖3種類の避難情報❖

市では、災害が発生したとき、または発生のおそれがあるときに、災害が発生する危険度に応じて以下の3つの避難情報を発令します。あらかじめ避難情報の意味を知り、発令されたら速やかに避難できるようにしましょう。

避難情報	避難準備情報	避難勧告	避難指示
	災害危険度：★ 人的被害が発生する可能性が高まった状況	災害危険度：★★ 人的被害が発生する可能性が明らかに高まった状況	災害危険度：★★★ 人的被害が発生する危険性が非常に高いと判断された状況
皆さんに求める行動	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者や障がい者などの避難に時間を要する方は避難を開始してください ●それ以外の人は、家族との連絡や非常用持ち出し品の用意など、避難準備を開始してください 	<ul style="list-style-type: none"> ●決められている避難場所や屋内の2階など、安全な場所に避難を開始してください 	<ul style="list-style-type: none"> ●避難中の方、避難をしていない方は、すぐに避難してください。外が危険な場合は、自宅や近くの建物の2階などに避難し、屋内で安全を確保してください

❖スムーズに避難するための3つのポイント❖

ポイント1 『ハザードマップを使い家族で防災会議』

日ごろから家族で、災害が起こったときに各自がどのように行動するべきかなどを話し合っておきましょう。話し合うときは家族でハザードマップを囲み、以下のテーマを参考にしてみましょう。

①住んでいる地域の危険を知る

➡自分の住んでいる地域に洪水や土砂災害などの危険がないか、家族で確認しましょう

②避難場所や避難経路を確認する

➡安全に避難するためには、どこに、どの道を通って避難すればよいか事前に話し合しましょう

③連絡方法の確認をする

➡災害時には電話がつながりにくくなります。「災害用伝言ダイヤル171」など、家族の連絡先・連絡方法を決めておきましょう

ポイント2 『情報をいち早く入手し、いち早く避難する』

災害時は、自ら積極的に防災情報を確認したり市が発令する避難情報を判断材料として、悩むことなく避難行動をとることができるようにしましょう。災害時には知識や情報、そしてすばやい避難があなたや家族の命を守ります。

◎情報を入手するには

北海道が運営する北海道防災情報にメール配信登録することで、警報が発令されたときなど災害の危険が迫っていることをすばやく知らせてくれます。いち早く情報を入手するために有効な手段ですので、積極的に登録しましょう。また、大雨のときなどに上流の河川の水位情報を地上デジタルテレビで確認することができます。水位情報や防災情報をいち早く入手して、災害の危険を予測しましょう。

●北海道防災情報

QRコードからメール配信登録を行うことですばやく防災情報を入手できます

○メール配信登録方法

登録・解除選択⇒地域グループ選択⇒配信地区・配信条件選択⇒パスワード設定
⇒登録内容確認⇒登録完了

見られる情報は… ■警報・注意報 ■地震津波情報 ■避難情報 ■洪水・噴火予報

ホームページ版 <http://www.bousai-hokkaido.jp>

携帯版 <http://i.bousai-hokkaido.jp>

携帯版 QRコード



●テレビ(地上デジタルテレビ データ放送)で防災情報を確認

NHK (チャンネル3) を選択⇒リモコンのdボタンを選択⇒防災・生活情報を選択
⇒河川水位情報や避難情報などが確認できます



ポイント3 『防災訓練に参加しよう』

いざ災害が発生した場合、ふだんから準備したり、訓練していないとスムーズに行動することができません。市では毎年、地域防災訓練を実施しています。積極的に参加し、災害に備えて訓練を積み重ねましょう。また、防災訓練に参加して地域の方々とふれあうことで、地域の防災力向上にもつながります。

平成27年度地域防災訓練

■とき 9月27日(日) ■ところ 総合体育館

※家庭での新しい備蓄方法※

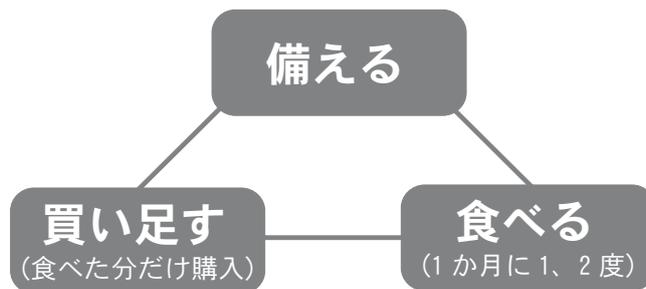
大きな災害が発生したときは、食料品や日用品が手に入らなくなったり、公的な支援物資もすぐには届かないかもしれません。そのときのために、各家庭で非常食を備蓄することはとても重要なことです。

これまでの備蓄の方法は、5年保存や3年保存の非常食を大量購入し、食べずに長期間備蓄するという方法が主流でしたが、この方法だと「保存しているのを忘れていて、気づいたときには賞味期限が切れていて廃棄した」といった失敗が起こりがちです。

そこで最近では、新しい備蓄の方法として「ローリングストック」という手法が注目されています。

■ローリングストック法

これまでのように非常食を食べずに長期間保存するのではなく、レトルト食品や缶詰、乾麺(ラーメン・パスタ等)など、ふだん購入している保存性の良い食料品を少し多めに「買い置き」し、定期的(1か月に1、2度)に食べて、食べた分を買い足し備蓄していく方法です。



ローリングストック法では、緊急時もふだんから食べ慣れたもので安心して食事をとることができ、非常食の保存期限切れを防ぐこともできるので、家計にも優しい備蓄方法となっています。

「非常食は最低3日分」、皆さんのご家庭でも非常食を備蓄し、災害に備えましょう。

災害時の避難場所および避難所一覧

避難所は、災害の規模や範囲、被災状況を考慮して市施設に開設します。いざというときに速やかに避難できるよう、日ごろから自宅や勤務先周辺の避難所を確認しておきましょう。



※ 洪水時に、一部避難所（×印）が変更となりますので、下表をご覧ください

	避難場所	避難所	避難町内会	地震などの場合	洪水時
1	空知太小学校 グラウンド	空知太小学校 ⑤3 0 7 7	富平、あかね団地、空知太第1、空知太すみれ	○	○
2	石山中学校 グラウンド	石山中学校 ⑤3 2 4 8	空知太第5、新石山団地、石山団地、北光第3	○	○
3	北光小学校 グラウンド	北光小学校 ⑤2 6 1 4 1	北光第1の一部（パンケ歌志内川から北地区）、北光第4、北光第5、北光第6、北光団地、一の沢	○	○
4	中央小学校 グラウンド	中央小学校 ⑤2 2 9 6 5	焼山第1、焼山第2、東雲、焼山第4、東晴見、晴見、新晴見、吉野第1、吉野第2、吉野第6、吉葉	○	×
5	海洋センター横 公園および駐車場	海洋センター ⑤2 4 8 0 9	北光第1の一部（パンケ歌志内川から南地区）、北光第2、共親、禄軒、若葉、のぞみ	○	×
6	公民館駐車場	公民館 ⑤2 2 3 3 9	千歳第1、千歳第2、正和、共栄、相和、睦親、舟場、栄町	○	×
7	地域交流センター ゆう 駐車場	地域交流センターゆう ⑤4 3 1 1 1	一心、親友、東和、大昭、十八日、駅前、北吉野西町、北吉野南町、三砂	○	○
8	砂川中学校 グラウンド	砂川中学校 ⑤2 4 2 0 4	鶉第1、宮下元町、宮下第1、宮下第2、宮城の沢、吉野ニュータウン、友和、親栄、東幸、山の手、東町、緑ヶ丘、南吉野団地、若草	○	○
9	総合体育館前公園	総合体育館 ⑤4 2 1 7 5	吉野第3、南風、新町、泉町、南日の出、新日の出	○	○
10	砂川小学校 グラウンド	砂川小学校 ⑤2 4 2 0 7	寺町、月見丘、曙、花園、朝日、宮川、宮川団地、豊沼第3、豊沼第4、豊沼第5	○	○
11	豊沼小学校 グラウンド	豊沼小学校 ⑤2 3 0 4 2	宮川中央団地、新宮川、親宮、豊栄、豊沼第1、豊沼第2、豊沼第6、豊沼第8、北電社宅、北洋社宅	○	○

洪水時には、下記町内会の地域に浸水する可能性が高いとされ、避難所である中央小学校、海洋センター、公民館への避難ができなくなります。このため、避難所が変更となりますので、注意してください。

洪水時に避難所が変更となる町内会	避難場所	避難所
北光第1の一部（パンケ歌志内川から南地区）、北光第2（砂川橋の状況次第では市外への避難）	北光小学校グラウンド	北光小学校
東雲、共親、禄軒、若葉、千歳第1、千歳第2、のぞみ	地域交流センターゆう 駐車場	地域交流セン ターゆう
睦親	砂川中学校グラウンド	砂川中学校
正和、共栄、相和、舟場、栄町	砂川小学校グラウンド	砂川小学校